



# 学校だより

大田区立大森第七中学校  
校長 増元 啓 彰

令和4年6月6日（月）発行

## 変えられないものがある！

3年生の修学旅行を無事終えることができました。3年生は1年生の時、移動教室が実施できなかったのに、中学校生活で初めての宿泊行事となりました。七中としても3年ぶりの修学旅行です。行けなかった上級生たちの代わりはできませんがその思いを感じ、有意義な旅行になったことでしょう。引き続き、学校の行事が予定通り行えることを願っています。その修学旅行の前日、3年生のみなさんに、以前修学旅行で訪れたお寺での講話の内容を紹介しました。

集団生活には学校だけではなくいろいろなところに規則がある。私（講話をしていただいたお寺の方）の通っていた中学校は自転車通学が認められていた。「通学路を通る」「ヘルメットをかぶる」規則があった。ある日の部活帰り、交通量の多い近道を通った。車と接触し自転車ごととばされた。骨折したがヘルメットのおかげで頭は大丈夫だった。通学路とヘルメットには意味があると実感した。規則には、「周りの人に迷惑をかけない」「授業中騒がない」など、規則ではないがマナーがある。人間は一人では生きていけないので、規則は周りに関わりながら生活していく基本である。（中略）私は阪神淡路震災の時中学生だった。普段は当たり前前に食べていたが、炊き出しによって今まで当たり前と思っていた身の回りのものがとてもありがたかった。誰かがあり自分がある。相手の立場を思いやりながらかかわってほしい。怒られたときに素直に「すみません」といえるだろうか。形だけの反省ではなく「何が違っているのか」「どうすればよいのか」考えてほしい。周りの人は馬鹿にしたりせず「どうしてそうしてしまったのか」と、相手の立場を考えて自分の成長につなげてほしい。「一人で生きている」と考えずに、「関わりの中で生きている思いやりの気持ち」で生活してほしい。という内容でした。

そして、少年院に訪問したときの職員からのお話です。少年たちは「悪いことを、悪いと教えてほしかった」と言っているそうです。「『早く！』『何やっているんだ！』と文句口調にならず、じっくり話し、『悪いことは悪い！』と子供たちに話してほしい」とのことでした。型にはめられたことがない少年が多いそうです。「規則・マナー・周りに迷惑をかけない」という「型」にはめることも重要であると言っていました。

子供を育てるのは大人の責任。時には大いに意見交換をし、ぶつかり合い、「かばう」だけではなく、「どのようにすることがこの子の成長に必要なのか」を考えていく機会をもつことが必要です。私自身も家庭では3人の子供の親。学校でも身近な大人として責任をもって対応していきます。もちろん七中職員一同、同じ気持ちで取り組んで参ります。

# 6月



## の予定

| 日 曜        | 行事予定                              |
|------------|-----------------------------------|
| 6月         | 全校朝礼                              |
| 7火         | 専門委員会                             |
| 8水         | 定期考査一週間前、水曜補習<br>小中一貫教育の会（⑤カット） ★ |
| 9木         | ⑥マナー講座（2）、中央委員会                   |
| 10金        |                                   |
| 11土        | 土曜補習                              |
| 12日        |                                   |
| 13月        |                                   |
| 14火        |                                   |
| 15水        | 定期考査Ⅰ（社、英、技・家）＜給食なし＞              |
| 16木        | 定期考査Ⅰ（数、美、音）＜給食なし＞                |
| 17金        | 定期考査Ⅰ（国、理、保体）＜給食なし＞               |
| 18土        |                                   |
| 19日        |                                   |
| 20月        | 生徒会朝礼、復習確認テスト（3）                  |
| 21火        |                                   |
| 22水        | 水曜補習 ★                            |
| 23木        | 特別時程、⑥カット、校内研修会 ★                 |
| 24金        |                                   |
| 25土        |                                   |
| 26日        |                                   |
| 27月        | 避難訓練                              |
| 28火        | ⑤⑥進路説明会（3）                        |
| 29水        | 水曜補習 ★                            |
| 30木        |                                   |
| 7/1金       |                                   |
| 2土         |                                   |
| 3日         |                                   |
| 4月         | 専門委員会                             |
| ★・・・部活動再登校 |                                   |

## 3年生が修学旅行に無事行ってきました！5月21日～23日



コロナ禍で2年間実施できなかった修学旅行をやっと今年度は実施することができました。生徒、保護者の皆さんはもちろん、私達教職員も修学旅行に送り出せたことが何よりの喜びでした。今年度は、急遽、PTA役員の方々を中心に土手から新幹線のお見送りも行い、保護者も旗を振って無事の出発を喜びました。修学旅行の生徒の感想を見ると、とても楽しかった、友達が広がった、など嬉しい感想が寄せられていました。初めての中学校での宿泊行事ということで印象深かったことと思います。日本の古都での体験も今後の学習を深めてくれることと思います。今後、様々な学校行事を行っていきけるよう願っています。



## 1年生地域巡り 5月25日

1年生が地域学習で地元を調べ、実際に訪れる学習をしました。普段自分達が住んでいる地域でもあまり知らないことが多いものです。生徒からも「知らなかった」などの声が寄せられました。これから更に地域をよく知り、地域を愛する気持ちを育てていきましょう。



## 鶉の木ストリートキャンピング 5月28日(土)



大田区商店街連合会、鶉の木銀嶺商店会、嶺町小学校PTAの御協力で「鶉の木ストリートキャンピング」を企画してくださり、本校PTAが呼びかけ、七中からは30名の生徒がボランティアに参加しました。七中生は時間通りに集合し、挨拶、返事をしっかりとし、幼児・小学生低学年の子供達に合わせて姿勢を低くし、楽しく触れ合っていました。たくさんの笑顔の中でとてもすがすがしいイベントになったと七中PTAの皆様からも喜んでいただきました。ボランティアで参加した皆さんには、参加賞(賞状)も贈られました。PTAの皆様、素敵な企画をありがとうございました。



## 挨拶について

副校長 濱島美佐子

先日、本校に出入りしている業者さんから、「七中って挨拶がすごいですよね。」とお褒めの言葉をいただきました。部活動の時間帯だったので、部活動中の生徒達が大きな声で挨拶をしてくれたのだと思います。挨拶を褒められるということは、本当に嬉しいことです。

「挨拶は最初の愛の花束」だと思います。挨拶をしてもらおうと誰もがとても嬉しい気持ちになります。しかも相手の目を見て挨拶をしたならばポッと心が温くなるのではないのでしょうか。

また、七中の校訓の「自治・礼節・勤勉」の「礼節」。この3つの徳のなかでも入口にあるのが、この礼節だと思います。相手への礼儀を尽くす。とても素晴らしいことです。相手に対する礼節を形にして表す。これが挨拶だと思います。

私が思うに、この礼節の「礼」「挨拶」もある程度、練習が必要です。日常的に身に付けるための練習です。その練習にあたるのが、学校での挨拶ではないのでしょうか。学校でお客様がいらした時に気付いて挨拶する。そのためには、普段から先生方に挨拶する習慣を付けるのもとてもよいことです。授業の始業時、終業時の礼もきちんと深くし、「お願いします」「ありがとうございました」を大きな声で言う。これを徹底するだけでも素晴らしい礼儀の基本が身に付きます。ぜひ、毎日、毎時間の礼と挨拶をきちんとできるように心がけてみましょう。練習のチャンスが毎時間訪れますよ！更に素晴らしい挨拶を目指しましょう！